

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 6 年 4 月 1 日

所在地 富士吉田市竜ヶ丘 1 丁目 10-25

企業名 株式会社シーズン

代表者 代表取締役社長 武藤 啓史

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

弊社では、企業理念「街の財産となる住まいの提供」を実現し、住む人の生命・財産を守り快適・健康に暮らせる住空間づくりを通じて、持続可能な世界を目指すために貢献をしております。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 5 年 4 月 1 日	
☑環境 □社会 □経済	住む人の生命と財産を守り、健康に暮らせる住空間づくり	国内最高水準の高断熱・高気密住宅の提供 100%達成	断熱等級について 50%達成、気密性能 100%達成	(進捗率) 75%
□環境 □社会 ☑経済	僅かなエネルギーで快適・健康に暮らせる生活提案	発電システム・蓄電池 搭載によるゼロエネ 住宅供給 90%	太陽光発電システム 搭載 75%、蓄電池 システム 0%	(進捗率) 37.5%
□環境 ☑社会 □経済	技術・品質向上を目指すパートナーシップ	同業他社の住宅性能 向上に向けた技術指導 R3 年 2 社→10 社/年	地元高校生、建材商 社等、企業向け現場 施工研修を実施	(進捗率) 100%

2030 年の目指す姿

カーボンニュートラル実現に向けた礎を築く。2030 年には全ての住宅の断熱性能を省エネ等級 7、気密性は全棟で気密測定を実施、相当隙間面積 0.3 以下。断熱性能を担保する気密性能の重要性を周知することで安全・快適・健康に暮らせる住環境を創造し、医療費・ランニングコスト・メンテナンスコストを極限まで削減できる住まいの普及。地域全体の住宅性能が向上することで豊かな生活を実現できる住まいを提供することで社会に貢献し地域から必要とされる企業を目指す。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第 3 号)「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」(要件 2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。